令和元年度　第２回学校運営協議会　議事録

開催日：令和元年 11 月 26 日（火）
時　間：14:30～16:30
場　所：深沢高等学校会議室
司　会：大谷総括教諭
記　録：河内総括教諭（全体）
　　浦井総括教諭（地域連携部会）
　　北澤総括教諭（キャリア部会）

＜出席委員＞
　石川　裕子　委員（会長）
　池田　実　　委員（副会長）
　里見　正憲　委員
　小日山 理香 委員
　嶋村　勝美　委員
　堀井　久章　委員
　荒井　里美　委員
　　（委員総数９名、欠席２名）

＜説明のための出席者＞
　なし
＜傍聴者＞
　なし

＜議事等の概要＞
１　授業参観
　資料２ を参考に校内を移動し、授業の参観をしていただいた。

２　校長あいさつ
　第一回学校運営協議会を経て、本校の活動においてもさまざまな改善を行った。今年度のグランドデザインは昨年度と少し変え、大きな二本の柱として「学力の育成」と「人間力・規範意識の向上」を挙げている。学力の育成においては、基本となる授業を大切にしていきたい。知識もさることながら、人の考えを聞き、自分の考えをしっかり述べるという力を、授業で育成していきたいと考えている。また、人間力・規範意識の育成においては、挨拶を基本として、様々な学校行事などで生徒自身が考えて実行できる仕掛けづくりをしていきたい。これらを通じて、3 年間を通して生徒に成長していってもらいたいと考えている。

３　キャリア部会と地域連携部会に分かれて連絡協議

【キャリア部会】

司　　会 ：牛島教頭、記録：北澤総括教諭

メンバー：里見委員、小日山委員、荒井委員、石川委員、牛島教頭、河内総括教諭、北澤総括教諭

（１）キャリア教育に係る学校担当者からの取組説明

資料５　牛島教頭

管理職による授業観察を年に２回行っている。２回目の今回は「わかる」から「できる」へ、をテーマに各授業担当者が工夫をして授業をおこなった。

資料６　河内総括教諭

授業にかかる研修会を行った。講師は桐蔭学園理事長　溝上先生。講演後に職員アンケートを行った。職員にとって参考になったことが伺われる。

資料７　河内総括教諭

本校のプロジェクトチーム担当者が授業改善に向けて研究している。それぞれが工夫した授業を公開授業として 11/13 日に実施した。多数の教員が見学し、放課後にはグループごとに研究協議を行った。

資料８　河内総括教諭

生徒による授業評価を７月に行い、その結果を表にした。４点満点でどの教科もほぼ３点となっており、「ほぼ当てはまる」ものと解釈できると言える。一方で、一部には低い得点も見られ、今後の課題とする。

資料９　北澤総括教諭

本校の特色でもある１年生全員参加のインターンシップ。今年で４年目となった。この表は学校独自のインターンシップで、３０以上の事業所にご協力いただいている。今年は 140 人ほどが参加した。生徒の感想も、事業所のご意見もおおむね良好であるが、生徒への事前指導や受入事務所側の理解など若干の課題があり、今後の改善を検討したい。

資料 10　北澤総括教諭

鎌倉湘南地区のインターンシップ事務局校になって２年目。こちらのインターンシップには本校から約 100 名が参加した。生徒の取組は概ね良好であるが、こちらにも若干の課題がある。

（２）質疑応答

・授業改善に向けての意欲的な取り組みが見られるように思う。研究授業後に教員の授業に変化はあったか？→研究協議がつい最近行われたので、目に見える変化はまだないが、各教員が刺激を受けて改善に取り組んでいる。

・授業中にスマートフォンを使用すると聞いて、時代が変わったものだと驚いている。

→スマートフォンの普及率ほぼ 100%、さらに校内の Wi-Fi 環境の整備が急速に進み授業も大きな転換期に来ている。今後スマートフォンなどを利用する授業が増えることだろう。

・スマートフォンを使うのはよいが、高校生に適切な使用法ができるものなのか。授業中の仕様が当たり前になるからこそ、モラルの教育が大切である。

・中学ではスマートフォンは持っているだろうが、必要のないものという認識。その生徒が高校生になったとたんに 180 度変わる指導となる。その点における問題点があるかもしれない。ただ、幼少期から携帯電話を使用している子供たちが、どのように携帯電話を授業に活用していくのか見守りたい。
・授業改善に向ける教員の授業見学は価値がある。特に、教科を飛び越えて見に行くことは評価できる。生徒目線で授業を見ることで授業における課題も見えてくると思う。→プロジェクトチームは若い教員が多く、気兼ねなく意見交換ができている。その点でも授業改善が進みやすい環境となっている。
・教員が充実して授業していることで、生徒からの信頼を得やすいというメリットもあるであろう。
・授業改善だけでなく、深沢高校の先生方に活気がある点が評価できる。
・インターンシップ以外に、進路実現に向けて行っている取組は何か？→高校卒業後の進路は多様で人それぞれ。まずは進路を意識させることが重要で、最近あった大学入学共通テストの問題のように情報がどんどん更新されている。生徒達には早く様々な情報を流すことを心掛けている。進路意識を持たせるためには、説明会などを開き、考える機会を頻繁に作ることと考えている。
・高校受験を終えたばかりの子供たちはすぐに将来を考えることはしない。そのような機会を与えることは必要だろう。

【地域連携部会】
司　　会：岡田副校長、記録：浦井総括教諭
メンバー：池田委員、嶋村委員、堀井委員、岡田副校長、大谷総括教諭、加藤総括教諭、浦井総括教諭、遠藤総括教諭
（１）授業見学
・静かな雰囲気で授業に集中していた。
（２）地域連携に係る学校の取組説明（資料 2 のグランドデザイン右側を中心に）
資料 12　遠藤総括教諭･･･令和元年度宿泊防災訓練のまとめ／職員ＨＵＧ研修の取組
（宿泊防災）実際にいろいろな体験ができた良かった。
3 年目なので昨年よりスムーズに取組めていた。
東レより訓練されていた。
高校で一般住民の受入れはできるか？
→食料を備蓄していないので難しい
（ＨＵＧ）今後につながる良い体験ができた、生徒のほうがまとめ方が上手かった部分があった。
訓練では先生は的確に指示・行動できていたか？
→少し混乱していた部分もあった
資料 13　岡田副校長･･･2 学年 33 期生の修学旅行状況
修学旅行のメインの一つとして防災学習を取入れた。
→高い意識をもって参加していた。

資料 14　大谷総括教諭･･･これまでの深沢高等学校ボランティア委員会の活動

（聴覚障害センター）聴覚障害の方のことを今まで想像したことがなかったので、いい体験ができた。

（あおぞら園納涼祭）普段内気な生徒でも、子供たちと向き合うと積極的な行動ができ、成長を感じた。

（文化祭）　子供に対しての関わり方はスムーズにできたが、年配の方への接し方がわからず苦慮している生徒が多かった。

→お年寄りとの接し方は幼児より難しいとことがある、健康状態によって変わってくるので事前に情報を得ていたほうがいいのでは、この体験を来年に生かしてほしい。

＊今後ボランティア委員だけではなく、幅広く参加を呼び掛けていきたい。

資料 11　加藤総括教諭･･･教育相談について

相談を受ける生徒が固定化傾向にある、より多くの生徒に利用してもらいたいがこちらの見立てと本人の気持ちとがかみ合わないことがある。有効利用について検討していきたい。学習が苦手な生徒に対してのカウンセリング指導もしていきたい。

資料 15　岡田副校長･･･地域課題への対応状況

・登下校のマナーについて近隣から注意を受けているため、ＨＲで生徒に注意を促した。
・文化祭練習での騒音苦情は、練習時間帯や場所を工夫したり、近隣への挨拶を密に行ったりすることで対応した。
・夏休み期間のグランドの土埃の苦情は、各部の練習計画を近隣に周知した。
・大雨時に地域住民が校内へ自家用車を無断で乗り入れ駐車するケースがあったので、市に対応を求め、近隣住民と話し合いの場を設けるようにしたい。

4　全体会議

（1）分科会の報告　16:10～

○キャリア部会　北澤総括教諭･･･授業改善について、進路について（キャリア部会の議事録を参照）

○地域連携部会　浦井総括教諭･･･宿泊防災、職員の HUG 研修、ボランティア委員会の活動、教育相談、地域連携について（地域連携部会の議事録を参照）

○資料３ 岡田副校長･･･学校評価中間報告について

模擬裁判の実施済み、部活加入率の達成状況、図書館の利用率が 16%増（昨年度比）、インターンシップ、防災学習の実施など。家庭学習などが課題

○資料４ 牛島教頭･･･不祥事防止について

どのような体制づくりをやっているか、同じ項目でどれくらいの成果があるのかを検証。すべての項目で昨年を上回る。交通法令順守は 100%。

○各委員より

・池田委員：授業の雰囲気がよい。特に廊下は暗いのではないか。防災学習やボランティア学習は経験が大切で、今後期待ができる。地域おの連携の接点がもっと分かりやすくなるといい。（非常時など）

・小日山委員：授業など温かい雰囲気だった。中学校側での視点で様々なことを考えなければならないこと思う面が多かった。感謝したい。

・嶋村委員：地域の防災にどれくらい関わろうとしているのか。もしもっと関わっていくのであれば、地域の要望を聞く必要がある。深沢高校がどれくらい接点をもつのかを検討してほしい。

・堀井委員：地域からのクレームもあるだろうが、言われてすぐにやめるのではなく、地域にとって深沢高校が近い存在であるということを理解し、求めていってもらいたい。

・新井委員：（ご自身の）子供がうらやましいと思った。活気のある先生方とすごしたことを誇りに思う。保護者として今後も生徒をサポートしていきたい。

・里見委員：生徒と先生の信頼関係があることを肌で感じた。今日見学した授業はトラディショナルなものであったが、音楽の授業などはみんなよくやっていた。（学校評価報告書）：良い取り組みがなされている。地域と学校が一体となっている（宿泊防災研修など）。今後も続けてほしい。授業改善プロジェクトでの取組が今後どのように波及してくのか、３月に聞いてみたい。全体を通して、素晴らしい内容であった。またすべての取組が生徒の主体性につながっていると感じた。

〇事務局より

地域のニーズの調査や、授業改善の波及度合いなど取り組めるものは取り組んで行きたい。次回はご希望を聞いた限りでは、３月１１日午後か３月４日の午後の可能性が高い。今後また連絡を差し上げる。ちなみに卒業式は３月３日である。お時間があればぜひご出席を。